

# 柏原市放課後子ども教室(のびのびルーム) 令和6年度の目標と達成状況

柏原市放課後子ども教室推進事業運営委員会では、持続可能な教室運営と事業の活性化のため目標を設定し、次年度以降の事業運営に活かせるように、その達成度について評価・分析を行っています。

達成度について

- A目標を大きく上回っている。 B目標を上回っている。  
C目標を達成している。 D目標を下回っている。  
E目標を大きく下回っている。

## 目標① 「多様な体験活動の実現」と「スタッフの人材不足の解消」に向けた取り組みの実施。

教室スタッフへのアンケートより、多くの地域において、「活動内容のマンネリ化」と「スタッフの人材不足」という課題があることがわかってきました。そこで、以下の2点を令和6年度の目標と設定しました。

- ・学校や地域だけではできない専門的な知識技能を有した講師による「出張プログラム」を実施することにより、放課後の多様な体験活動を実現する。
- ・学生ボランティアを活用することで、人材不足を解消する。



達成度

B

多様な体験活動が実施された。

令和6年度は、各地域で、新たな活動に取り組む動きが見られました。中でも、府や市の「出張プログラム」は8回活用され、各教室の子どもたちにとって新たな体験の場となったようです。

学生ボランティアの活用は、2回にとどまったものの、地域スタッフは前年度と比較して、のべ169人増加しており、新たな人材の参画が各地域で見られています。

令和7年度に向けて

今年度の成果と課題を踏まえた上で、柏原市放課後子ども教室推進事業運営委員会では「市貸出用品(ニュースポーツ)の充実と周知」「専門知識技能や経験を持った方を講師として招く出張ボランティアプログラムの拡充」「スタッフ不足を補うための学生ボランティアの活用」を進め、さらなる事業の活性化を促していきたいと考えています。